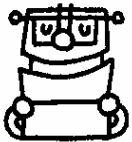


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /
星の動き / 理解シート

せいざ 星座は、だれが考え出して、いつからあるの



約5千年以上前に、メソポタミア地方にすんでいた人が
考えついたのが、星座のはじまりといわれているのさ。

夜空の星をぼうっと見ていると、いつも同じように見えますが、明るさや色などで目立つ星や、そのまわりの星の並び方を目印にすると、星の動きなどがよくわかるようになります。

5000年以上前、メソポタミア地方(今のイラク)にすみ、たくさんのヒツジを飼っていたカルデア人とよばれる人たちが、毎日、夜空の星をながめているうちに、目につく星をつなぎ合わせて、星の並び方や動きと、季節や時刻の関係を
知るようにしました。そして、つなぎ合わせた星のグループを、身近な動物や道具、伝説に出てくる人物などの姿すがたにあてはめ、名前をつけたのが、星座の始まりです。

今、世界共通の星座は88個

今から約1900年前に、ギリシャのプトレマイオスが書いた本の中には、今も使われている、48個の星座のことが書かれています。ただし、この星座は、ギリシャから見るることができる星座だけでした。

船や航海の技術が発達した1500年ごろには、海をわたって地球上のあちこちに人が行くようになり、ギリシャから遠くはなれた、いろいろな場所から夜空を見ることになりました。そして、場所がちがえばギリシャでは見えなかった星がたくさんあることに気づき、新しい星座が100以上つくられました。けれども、いろいろな国で、ばらばらに星座の名前をつけたため、同じ星がちがう星座名に入ったりしてこまったことが起きました。そこで、1930年に、世界共通の星座名をまとめ、88個の星座になりました。



星座って、ずいぶん昔から
観察されていたんだね。